

安全マネジメント推進要綱

2019年度



両備ホールディングス株式会社

両備バスグループ

両備バスカンパニー

両備バス関西カンパニー

両備津山カンパニー

東備バス

は じ め に

2019年度も「日本一安全な運輸企業」を目指した取組みを引き続き実施します。2009年2月に発せられた経営トップのコミットメントは、日本一安全な運輸企業を目指すとした大作戦を展開し、管理者・乗務担当社員・労使が一体となり、真のドライバー目線で指導・教育を確実に行う事により、社会やお客様に対し安全・快適な輸送サービスを提供します。

具体的には、SSPブラッシュアップ推進委員会での組織活動により、1人のリーダーが5人の指導を行い(チーム5制度)、全体のレベルアップを図ります。現場指導を中心とし、無事故模範ドライバーであるリーダーが自らの経験による事故回避の秘訣を班員に伝授することにより、「考える運行のできるセールスドライバー」を育成します。

事故は、COO・管理者・運行管理者・教育担当者や整備担当者と労組・乗務担当社員との共同正犯であることを受け止め、全社一丸で対応します。

事故を未然に防ぐため、安全設備搭載の新型車両、点呼・健康管理新システム等のハード面の充実を図るほか、運転適性診断や健康診断、ドライブレコーダー・デジタルタコグラフの結果による要注意者をリストアップし、添乗指導や各研修をグループバス会社と合同で行うことにより、多角的な視点から「悪い癖」を修正していきます。とりわけハインリッヒの法則の通り、小さい事故の積み重ねが重大事故に繋がっている点から、小さい事故の段階での指導をより強化していきます。

社員一人ひとりが「尊い人命を預かっている」という社会的使命を自覚し、「忠恕(真心からの思いやり)」の精神での運転&接客に努め、社会やお客様に愛され信頼される運輸企業となるよう全社員の力を結集し、安全&快適運行に努めます。

両備バスグループ安全指針

- 安全が最大の顧客サービス (「人命第一」&「安全最優先」)
- 厳正な点呼の実施 (「国交省メールマガジン」&「個人重点目標」)
- 安全意識を高め、現場力のアップ (SSPブラッシュアップ運動)
- 安全確保重点カレンダーに従った事故防止 (「人命第一」人身事故防止運動)

2019年 グループ安全スローガン

コミュニケーションで築こう安全文化！
基本動作の徹底、一人ひとりが監督者、注意し合える
大切な仲間！

2019年 両備バス安全目標

プロ意識を持って総事故半減

- ・人命最優先の対処
- ・一呼吸置いてバック事故削減
- ・憶測に頼らず必ず確認

事故削減心得6則

- ・車両の特性を知りましょう。
- ・運転技術を磨きましょう。
- ・健康状態を管理しましょう。
- ・道路交通法を守りましょう。
- ・接客サービスを徹底しましょう。
- ・国土交通省告示第1676号の各項目を厳守しましょう。

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

1) 両備グループ安全宣言

社会正義の経営方針に則り、交通運輸各社は、「運輸安全マネジメント」に基づき、「安全」を最優先とし、「日本一安全な運輸企業」を目指して頑張ることを宣言します。

2) 活動方針

両備グループ安全マネジメント委員会を中心に、労使参加で、より現場に密着した効果的な活動を展開し、目標である「日本一安全な運輸企業」を目指します。

3) 安全方針

- ①安全運転を第一とし、法令順守し、基本に忠実に日々業務を遂行すること。
- ②車両の整備を的確に行い、始業点検を厳正に行うこと。
- ③点呼において、日々安全への啓蒙、関心を高めること。
- ④教育を通じて安全意識を常に涵養すること。
- ⑤万が一重大事故の場合、人命尊重を第一に対処し、速やかに上司、関係機関への連絡をとること。

2. 輸送の安全に関する目標(2019年度)

10万キロ当たり責任事故件数0.06件以下達成を目標とする。

責任事故 11件以内

(責任事故・・・過失割合が重く、事故損害額が50,000円を超える事故)

3. 事故に関する統計(2018年度)

自動車事故報告規則 第2条に規定する事故	人身	2件	0.010件/10万 ^{キロ}
	疾病による 運行中断	2件	0.010件/10万 ^{キロ}
	車両故障	17件	0.089件/10万 ^{キロ}
責任事故		36件	0.185件/10万 ^{キロ}
総事故(含 被害事故)		102件	0.523件/10万 ^{キロ}

※自動車事故報告規則第2条に該当する人身事故の内、第一当事者となる事故は発生していません。

(統計年度は4月～3月 東備バス含む)

目標の10万キロ当たり責任事故件数0.06件以下は0.19件のため未達成

4. 輸送の安全に関する組織体制(別紙)

- ①両備グループ安全マネジメント委員会
- ②両備バス安全マネジメント委員会
- ③両備グループバス部門SSPブラッシュアップ推進委員会
- ④両備グループ安全管理室

5. 輸送の安全に関する重点施策

- ①運転行動の基本に戻り、日々の業務を安全に遂行します。
- ②指差確認喚呼と左折時一旦停止、右折時一旦停止又は最徐行の励行で交差点事故を根絶します。
- ③点呼・健康管理システム「点呼・健康:ご安全に!」を活用し、健康起因事故の防止を図ります。
- ④頭部MRI検査と睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査を実施し、健康状態を管理します。
- ⑤車両の不具合による事故の根絶を図ります。
- ⑥「点呼・健康:ご安全に!」と車両管理システムの連携により無車検運行を防ぎます。
- ⑦ヒヤリハット情報&国交省メルマガの活用で、危険予測、予見運転意識を高めます。
- ⑧事故・苦情の撲滅を目指したSSPブラッシュアップ運動の展開で、現場力を高めます。
- ⑨教育・研修を通じ、安全意識を涵養し、飲酒&薬物にかかる指導を継続的に行います。
- ⑩情報の迅速・正確さの向上を図り、安全運転に活用します。
- ⑪事業所の巡視・監査を通じ、現場の諸問題を速やかに解決します。
- ⑫両備グループ交通違反制度により道路交通法遵守の徹底を図ります。
- ⑬職場内対話の充実により、風通しの良い職場を構築し、不安全行動を防ぎます。
- ⑭全乗務担当社員のドライブレコーダーを定期的に確認し、結果に基づいた指導を実施します。
- ⑮AIを活用してドライブレコーダーを分析し、個人用携帯電話・スマホルール違反を防ぎます。

6. 事故・災害時の連絡報告体制(別紙)

7. 輸送の安全に関する会議等の実施計画(別紙)

輸送の安全目標達成のため、昨年の事業の検証を行い、現状の問題点を抽出した上で、安全マネジメントの実効をあげる輸送の安全に関する計画を見直しします。

8. 輸送の安全に関する教育・研修等の実施計画(別紙)

9. 輸送の安全に関する研修・設備投資等の実施計画(別紙)

10. 輸送の安全に関する内部監査

- ①安全統括管理者による内部監査(年1回)
- ②グループ安マネ委員会監査委員・SSPブラッシュアップ委員による業務監査(随時)
- ③カンパニー長(副カンパニー長)による抜き打ち訪問(随時)
- ④内部監査委員による定例監査(整備・人事・財務)
- ⑤労使メンバー安全点検職場巡回(年12回)
- ⑥バスユニット各社による相互監査(随時)

11. 行政処分の公表(別紙)

12. 安全に関する資料、記録の保存

- ①輸送の安全に関する基本的な方針
- ②輸送の安全に関する重点施策
- ③事故・災害時の連絡報告体制
- ④輸送の安全(施策の見直し)に関する会議の議事録
- ⑤事故・災害等報告記録
- ⑥運輸局通達等発信情報記録
- ⑦輸送の安全に関する内部監査結果

13. 経営トップによる見直し・改善指示

両備グループ安全マネジメント委員会を毎月開催し、経営トップの判断が必要な場合は、遅滞なく改善指示をします。

【運転中のスマートフォン操作によるもの】

行政処分の公表

当社は近畿運輸局大阪運輸支局より下記の処分を受けました。
今回の処分を厳粛に受け止め、信頼回復に向けて、法令の遵守および輸送の安全確保を徹底し、
全社を挙げて再発防止に取り組んでまいります。

記

1. 対象営業所
両備バス関西カンパニー大阪支店
2. 処分内容
文書警告
3. 違反条項
運転者に対する指導監督義務違反(旅客自動車運送事業運輸規則第38条第1項)
4. 当該処分に基づき講ずる措置
運転者に対し、法令の遵守および輸送の安全を確保するための指導の充実化を図ります。
また、受講後の効果測定で習得状況を確認し、完全に理解できるまで繰り返し指導を
徹底してまいります。
5. 処分を受けた日 2016年11月17日

以上

【無車検運行によるもの】

行政処分の公表

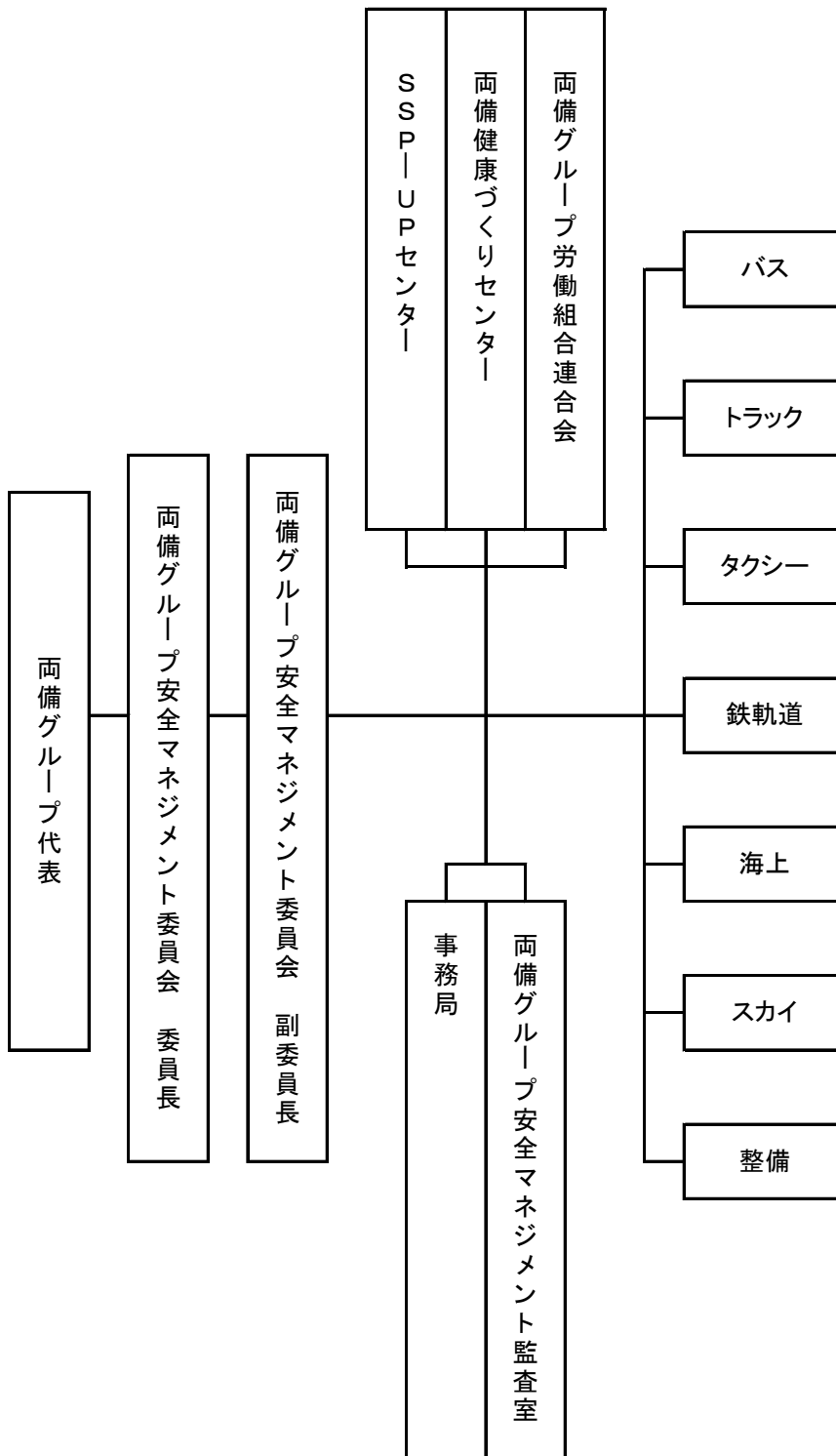
当社は中国運輸局岡山運輸支局より下記の処分を受けました。
今回の処分を厳粛に受け止め、信頼回復に向けて、法令の遵守および輸送の安全確保を徹底し、
全社を挙げて再発防止に取り組んでまいります。

記

1. 対象営業所
両備バスカンパニー倉敷営業所
2. 処分内容
事業用自動車(貸切バス)の使用停止 10日車
3. 違反条項
 - ①有効な自動車検査証の交付を受けていない事業用自動車を運行の用に供していた。
 - ②点呼の記録の記載事項に不備があった。
4. 当該処分に基づき講ずる措置
ヒューマンエラーを防止するために、始業点呼時に車検有効期限を確認するシステムを導入します。
5. 処分を受けた日 2017年5月31日

以上

両備グループ安全マネジメント委員会組織図



両備バス安全マネジメント委員会組織図

両備バスカンパニー
 両備バス関西カンパニー
 両備津山カンパニー
 両備タクシーカンパニー
 東備バス
 ニッコー観光バス

2009年4月15日

(変更)2019年4月1日

委員長兼事故審査委員長
 カンパニー長

事務局

安全推進室	室長
運輸部	部長
管理課	係長
管理課	主任
CS推進室(ユニット)	係長
CS推進室(バス)	室長
車両課	係長

オブザーバー

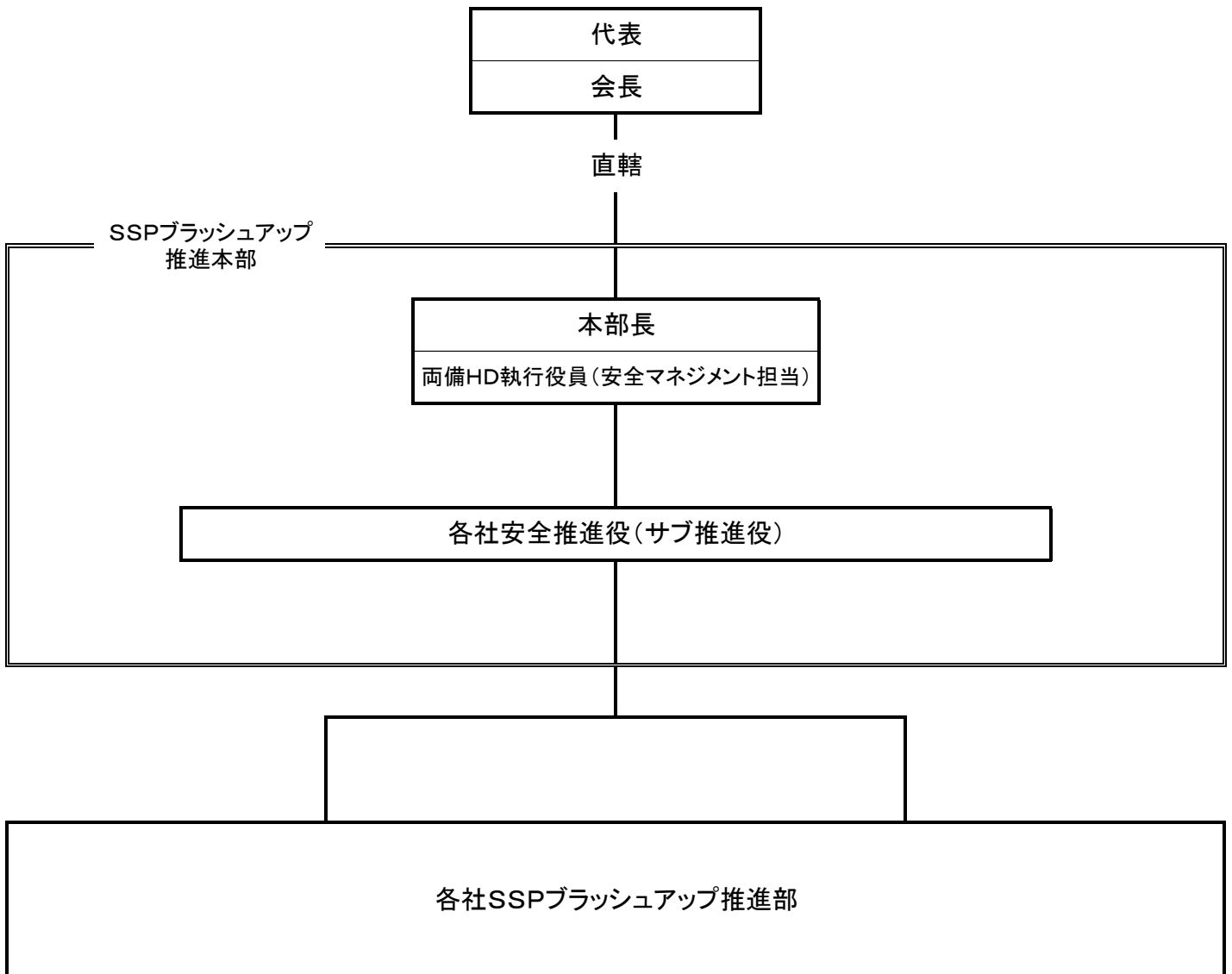
SSP-UPセンター	所長
"	部長
両備ホールディングス代表取締役専務	
両備バスカンパニー顧問	
両備テクカンパニー長	
両備バス労働組合	委員長
"	副委員長
"	書記長
"	事故対策部長



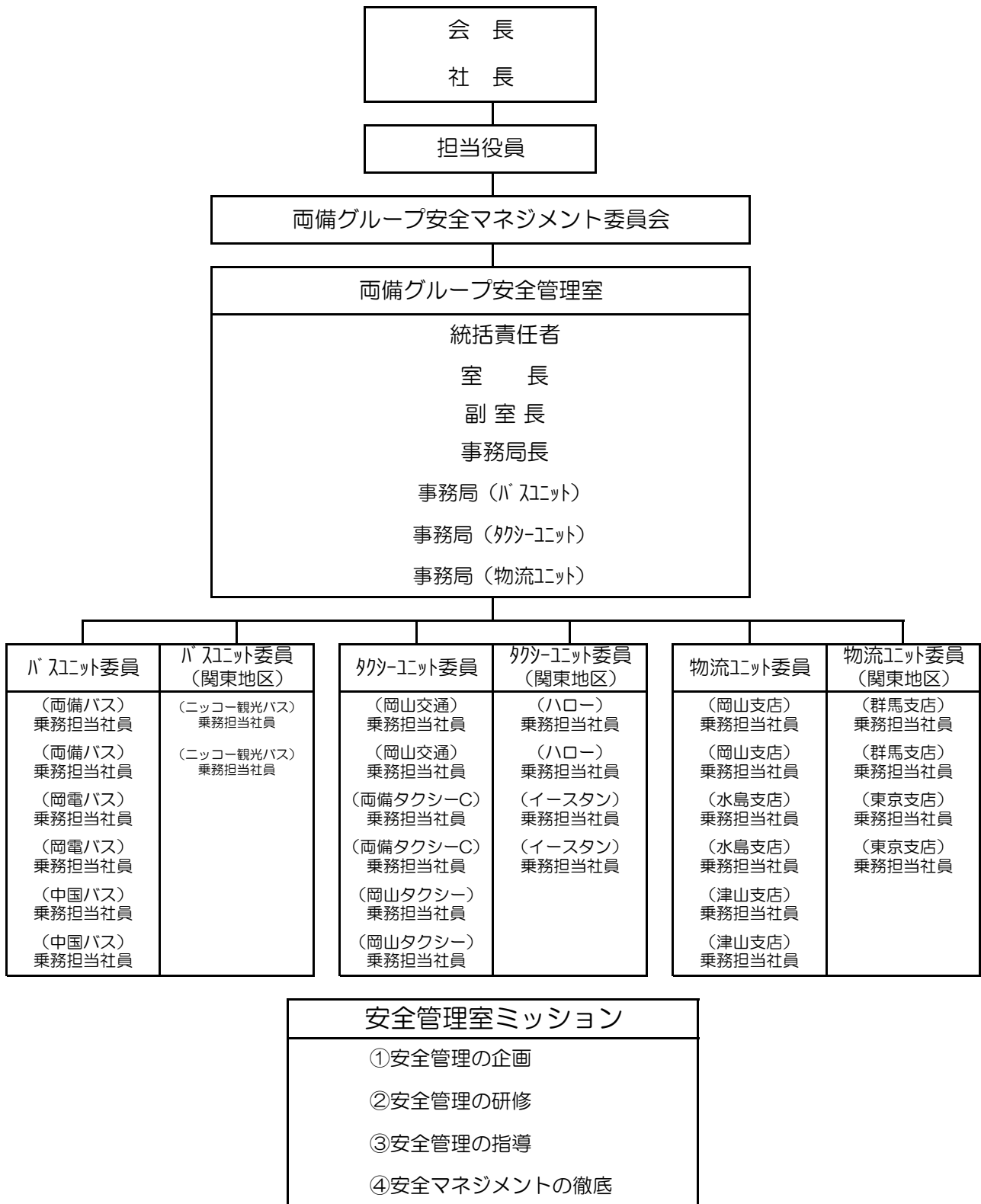
両備グループ バス部門 SSPブラッシュアップ組織図

2013年4月1日

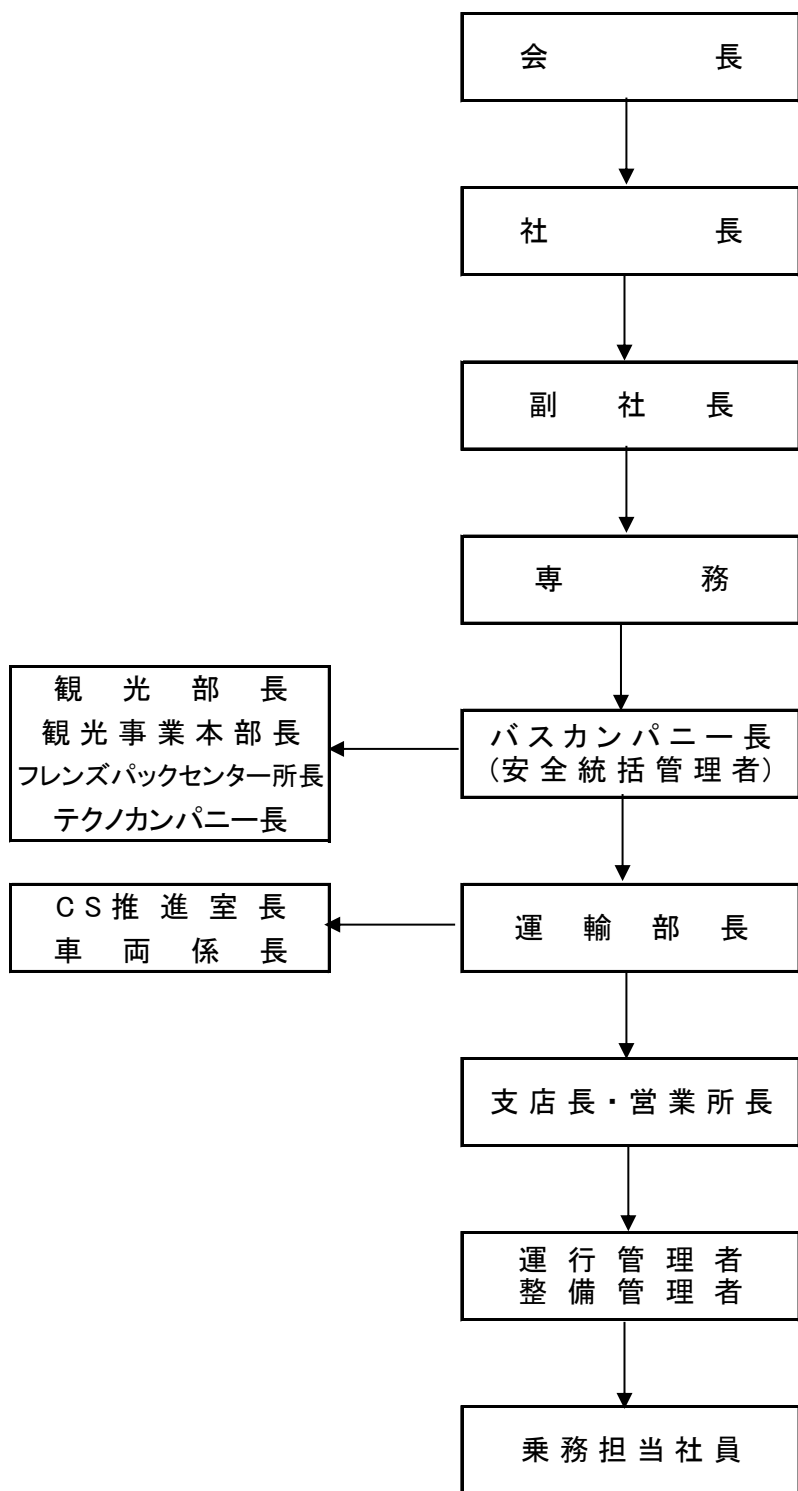
(変更)2017年4月1日



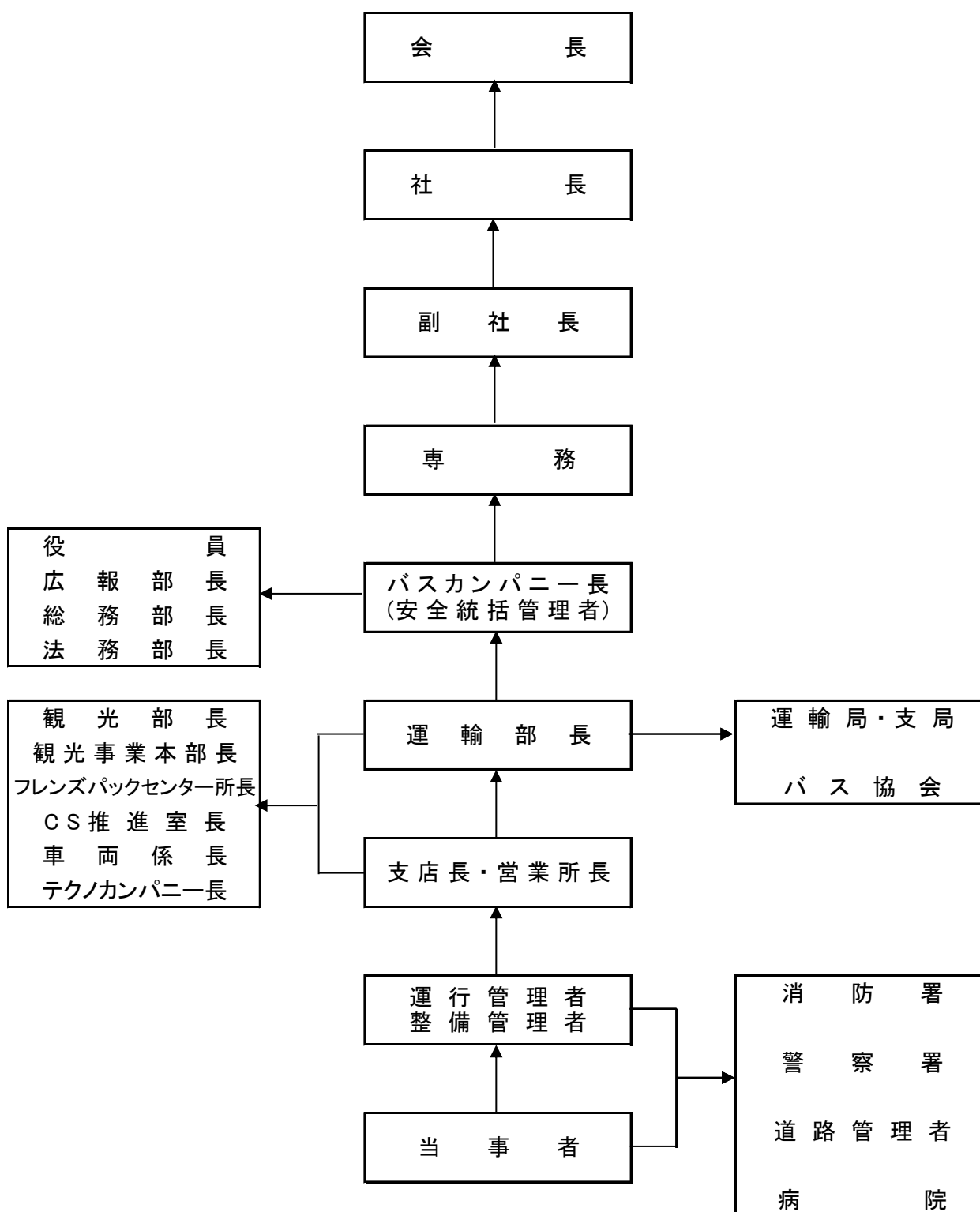
両備グループ 安全管理室組織図



輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統図



事故・災害等発生時の報告連絡体制図



2019年度 輸送の安全に関する会議等の実施計画

2019年4月1日

両備バスカンパニー・両備バス関西カンパニー・両備津山カンパニー

東備バス

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
両備グループ安全マネジメント委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
両備グループ安全マネジメント委員会バス部会			○			○			○			○
両備バス安全マネジメント委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SSP-up総点検日(毎月10日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高速追突注意の日(毎月15日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自転車注意の日(毎月16日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
健康管理注意の日(毎月17日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
交通事故ゼロの日(毎月19日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
交差点注意日(毎月20日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
車検期限確認の日(毎月22日、30日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
安全統括管理者内部監査									○	○		
バスユニット相互監査		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SSP-UP技能コンテスト						○						
両備グループ交通安全月間				○								
両備グループ交通安全日(7月31日)				○								
車検切れの日(5月22日、12月30日)		○							○			
スマホ事件を風化させない日(10月31日)							○					
スマホ依存度調査						○						
春秋交通安全運動、年末年始安全総点検		○				○			○	○		
飲酒調査個人面談						○						○
定期健康診断(夏・冬2回)					○						○	
産業医巡回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SSPブラッシュアップ委員による面談指導					○							○
中間点検・点呼立会い・添乗指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
無事故表彰(営業所)			○						○			
無事故表彰(個人)												○

2019年 輸送の安全に関する教育・研修等の実施計画

①両備バスカンパニー・両備バス関西カンパニー・両備津山カンパニー・東備バス

★両備バス	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	日数	担当	備考
新入運転者教育	随 時												集合12日間現場2月	管理課・営業所	(座学)本社(実技)西大寺宮 その後 配属先営業所
運行管理者(運行管理補助者)教育	○					○	○	○					0.5日	管理課	(座学)本社
指導運転者教育				○									1日	管理課	(座学)本社
新任運行主任教育					○								1日	管理課	(座学)本社
新任職長・班長教育				○									1日	管理課	(座学)本社
一般運転者教育(ドラレコを使ったKYT・デジタコ・スマホ等)	○	○				○	○	○				○	1日	管理課	(座学)本社・岡山営業所または大阪支店
事故惹起者教育		○		○		○			○			○	1日	管理課	(座学)本社(実技)郊外
貸切ステップアップ教育					○		○						2日	管理課	(座学)本社(実技)岡山営・米子道・山陰
高速ステップアップ教育				○								○	4日	管理課	(座学)本社(実技)岡山営・山陽・中国道・名神道・広島・京都
雪上訓練	○											○	1日	管理課	(実技)蒜山・大山
運転技能教育(入社1年～3年未満)	○	○					○	○					1日	管理課	備前自動車大型教習所
運行管理者基礎講習						○						○	3日	NASVA	
運行管理者一般講習	○							○	○				1日	NASVA	
安全マネジメント講習会					○	○	○					○	0.5日	NASVA	リスク管理・ガイドライン・内部監査
適性診断活用研修(指導者)		○			○						○		0.5日	NASVA	
適性(適齢)診断	○	○				○	○	○				○		NASVA	適齢は65歳到達後1年以内 以降67歳 69歳時に実施
適性診断受診者個別指導	○	○				○	○	○				○		営業所	
一般運転者教育(国交省告示1676号)	随 時													営業所	乗務担当者必携、国交省メルマガ等使用
運転実技教育			○				○	○					1泊2日	クレフィール湖東	

②両備グループ バス部門合同(両備HD・岡山電気軌道・中国バス・井笠バスカンパニー・東備バス・ニッコー観光バス)

★両備SSP-UPセンター(バス部門 合同教育)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	日数	場所	備考
新任バス運転者基礎教育(座学)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3日	SSP-UPセンター	
新任バス運転者基礎教育(技能教育)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2日	備前自動車大型教習所	
新任バス乗務担当社員フォローアップ教育		○	○			○	○					○	1日	SSP-UPセンター	
女性乗務担当社員フォローアップ教育					○								1日	両備ホールディングス	
ベテラン(高齢)運転者教育(55歳時対象)			○			○						○	1日	岡電岡南	
事故惹起運転者教育	○		○		○		○		○		○		1日	SSP-UPセンター	
SAFTY教育(技能教育)		○		○		○		○		○		○	1日	備前自動車大型教習所	
接客サービス教育(苦情多発者対象)	○				○				○				1日	SSP-UPセンター岡山駅	
営業所長研修								○					1日	SSP-UPセンター	
運行管理者研修									○				1日	SSP-UPセンター	
営業所長・運行管理者研修										○	○		1日	SSP-UPセンター	
SSPup技能コンテスト									○				1日	備前自動車岡山教習所	
SSPup技能コンテスト関東大会							○						1日	南横浜自動車学校	

2018年度 輸送の安全に関する研修・設備投資費用

両備バスカンパニー
 両備バス関西カンパニー
 両備津山カンパニー
 東備バス

項 目	単 価	人員・個数	合 計	備 考
新入運転者教育	97,500	17	1,657,500	制服等を含む
事故惹起者教育	17,200	25	430,000	
ベテラン運転者教育	6,400	11	70,400	55歳到達時
一般運転者教育	2,900	329	954,100	
ステップアップ教育	4,300	32	137,600	高速・貸切運転者登用時
指導運転者教育	63,500	10	635,000	クレフィール湖東研修含む
運行管理者(補助者)教育	1,000	136	136,000	社内
運行管理者一般講習	3,100	93	288,300	ナスバ
運行管理者基礎講習	8,700	23	200,100	ナスバ
安全マネジメント講習会	5,100	11	56,100	ナスバ
適性診断(一般)	2,300	124	285,200	ナスバ
適性診断(初任)	4,700	30	141,000	ナスバ
適性診断(適齢)	4,700	31	145,700	ナスバ
運転記録証明書	630	569	358,470	
ASK飲酒運転防止インストラクター	18,500	1	18,500	
SAS検査	2,500	27	67,500	
MRI検査	20,000	19	380,000	
薬物検査	5,940	121	718,740	
携帯型アルコール検知器	2,600	380	988,000	
安全リボン	700	80	56,000	安全マネジメント委員会
ALC-Mobileリプレイス	5,017,680	1	5,017,680	
スマホ対応 DR-VISON用パソコン	430,000	9	3,870,000	
乗合車両 新造	28,000,000	4	112,000,000	ワンステップ・ノンステップ・AT車
乗合車両 新造	29,000,000	2	58,000,000	玉野特急・AT車
乗合車両 新造	18,000,000	1	18,000,000	玉野市コミュニティバス・AT車
高速車両 新造(昼行用)	45,000,000	2	90,000,000	衝突被害軽減ブレーキ装備車・AMT車
高速車両 新造(夜行用)	60,000,000	1	60,000,000	衝突被害軽減ブレーキ装備車・AMT車
貸切車両 改造	35,000,000	1	35,000,000	
総 計			389,611,890	

* 補助金含む

2019年度 輸送の安全に関する研修・設備投資予算

両備バスカンパニー
 両備バス関西カンパニー
 両備津山カンパニー
 東備バス

項 目	単 価	人員・個数	合 計	備 考
新入運転者教育	91,900	30	2,757,000	制服等を含む
事故惹起者教育	8,800	15	132,000	
ベテラン運転者教育	6,400	15	96,000	55歳到達時
一般運転者教育	1,300	360	468,000	
ステップアップ教育	4,300	30	129,000	高速・貸切運転者登用時
指導運転者教育	63,500	10	635,000	クレフィール湖東研修含む
運行管理者(補助者)教育	1,000	150	150,000	社内
運行管理者一般講習	3,100	60	186,000	ナスバ
運行管理者基礎講習	8,700	20	174,000	ナスバ
安全マネジメント講習会	5,100	20	102,000	ナスバ
適性診断	2,300	250	575,000	ナスバ
運転記録証明書	630	550	346,500	
ASK飲酒運転防止インストラクター	18,500	5	92,500	
SAS検査	2,500	30	75,000	
MRI検査	20,000	55	1,100,000	
薬物検査	5,940	131	778,140	
ALC検知器用システム	1,798,200	1	1,798,200	IC免許証リーダー
乗合車両 新造	28,000,000	2	56,000,000	玉野特急・AT車
乗合車両 新造	28,000,000	4	112,000,000	ワンステップ・ノンステップ・AT車
高速車両 新造(昼行用)	45,000,000	2	90,000,000	衝突被害軽減ブレーキ装備車・AMT車
高速車両 新造(夜行用)	60,000,000	1	60,000,000	衝突被害軽減ブレーキ装備車・AMT車
総 計			327,594,340	

* 補助金含む

ご安全に！

2019/6/29

両備ホールディングス株式会社バス部門

安全統括管理者 山田 英夫

両備バスカンパニー・両備津山カンパニー

執行役員カンパニー長 山田 英夫

両備バス関西カンパニー

執行役員カンパニー長 金重 雄志

東備バス株式会社

安全統括管理者 代表取締役 佐藤 輝彦